

(第2号様式)

コザ第 2855 号
令和4年3月14日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立コザ高等学校
校長 宮城 薫

令和3年度県立コザ高等学校学校評議員について(報告)

令和4年1月19日付け教県第1741号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和3年7月15日 (木)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名
第2回	日時	令和3年12月16日 (木)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名
第3回	日時	令和4年3月10日 (木)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①校長より、本校教育目標や生徒の活躍・教育活動のようすを説明し、忌憚のない意見を要望した。
- ②教務主任より、学校行事の周知方法や学校生活について意見を求めた。
- ③進路指導主任より、本校の進路指導のあり方について意見を求めた。
- ④生徒指導主任より、生徒指導全般に対する意見を求めた。
- ⑤定時制課程の教頭より、定時全般について意見を求めた。

3 学校評議員の意見

- ①進路指導において、国公立大学合格者が過去最高人数を大幅に増やせたことは、大変素晴らしい事である。
- ②高校総体11連覇等生徒の活躍が素晴らしい。今後も文武両道を実践して貰いたい。
- ③クラッシーの導入で、子どもが学習に向き合うことが出来ていると保護者が喜んでいて。
- ④環境美化に力を入れると、学校全体が改善する。学校を良くするために学校をきれいにしてほしい。
- ⑤コザ高校がきれいになっている。進学や部活で実績を残しているのはそれと関係があると思う。
- ⑥歩きスマホは、事件・事故に巻き込まれる危険性があるので気をつけてほしい。
- ⑦各部の保護者会をもつべきではないか。学校側から要望しても良いのではないか。

4 学校運営に反映した事項

- ①Classi活用数を増やすために、登録方法を簡素化し複数回の周知を行った。
- ②コザノートの周知を年度当初に行い、特に特進クラスの生徒に対しては担任を通して活用を推進したり、全生徒の中で多く活用している生徒の表彰等を実施して周知を強化した。
- ③2016年度から実施している進路指導部主催の8時間自主学習会も継続しており、今年度は3回実施(コロナウイルス感染症対策で2回中止)することで生徒の希望進路実現に向けた取り組み体制が出来つつある。
- ④部活動実態調査やいじめアンケートを実施し、早期発見及び対応の強化を図った。
- ⑤新型コロナウイルス感染症対策を学校医や県教育委員会と連携して実施できた。

5 課題その他

- ①真の文武両道を実現するために、生徒の希望進路実現に向けた更なる取り組み強化と体制構築。
- ②部活動実態調査やいじめ、その他の生徒指導の問題に対して、生徒指導部の指導体制の再検討。
- ③新型コロナウイルス感染症対策を学校医や県教育委員会と連携して継続実施。